

# 東日本大震災災害支援報告書

巡回日	巡回先名
平成25年12月13日～	岩手県陸前高田市
12月15日	米崎小学校仮設住宅
	あすなろホーム
	作業所青松館
	作業所きらり、
	@かたつむり
	岩手県立高田病院
	岩手県大槌町
	特別養護老人施設 三陸園
	子ども夢ハウスおおつち
	岩手県釜石市
	地域活動支援センターまりん
担当者名	中里義博
	歯科医師 歯科衛生士 歯科サポート兼ハン
	ドトリートメント施術ボランティア
	職種 (歯科 S&H)
	所属 岩手三陸復興の狼煙作戦、

## 巡回メンバー（メンバーの氏名と職種・所属）

中里義博：歯科医師 埼玉県歯科医師会 岩手三陸復興の狼煙作戦

白根雅之：歯科医師 埼玉県歯科医師会 岩手三陸復興の狼煙作戦

清水夏子：歯科衛生士 所沢あおぞら歯科診療所 岩手三陸復興の狼煙作戦

\*清家瑞穂：会社員 サンスター株式会社勤務 岩手三陸復興の狼煙作戦

山崎耀樹：現地駐在（釜石）支援員兼記録者NPO法人

「障がい者自立センターかまいし」職員 岩手三陸復興の狼煙作戦

\*印は、歯科サポート兼ハンドトリートメント施術ボランティア

（以下：歯科 S&H と称す）

歯科医師 2 名、歯科衛生士 1 名 歯科 S&H 1 名 支援員兼記録者 1 名 計 5 名

## 協力者

田畑 潔：岩手県県立高田病院院長

石木幹人：岩手県県立高田病院顧問

大和田剛史：岩手県気仙歯科医師会会長

小松 元：釜石歯科医師会

佐藤一男：岩手県陸前高田市米崎小学校仮設住宅自治会長

伊藤勇一：岩手県陸前高田市作業所きらり所長

菅野哲也：岩手県陸前高田市作業所青松館作業指導員（館長不在のため）

芳賀チネ：岩手県大槌町特別養護老人施設三陸園園長

北田奈穂美：岩手県大槌町特別養護老人施設三陸園施設長

大西智史：@かたつむり管理者

佐藤一男：岩手県陸前高田市米崎小学校仮設住宅自治会長

東平享浩：桜ライン 311 スタッフ（現地情報提供者）

丹羽房子：岩手県陸前高田市米崎小学校仮設住宅

健診、簡単な歯科治療、口腔保健指導・教育を受けた人数

\* ( ) 内はハンドトリートメント施術による脱感作を受けた人数

米崎小学校仮設住宅

12月13日	：お口の健康診査	4	人
	簡単な歯科治療	6 ( 6)	人
14日	：口腔機能の維持向上講話	14	人
	健口体操	14 ( 8)	人
作業所きらり	：職員の方への研修	3	人
@かたつむり	：職員の方への研修	2	人
あすなろホーム	：お口の健康診査	32 ( 1)	人
	口腔機能の維持向上講話	32	人
	お口の機能向上実習	32	人
	職員の方への研修	5 ( 4)	人
まりん	：職員の方への研修	3	人
三陸園	口腔ケア	11	人
	口腔保健指導 (入所者)	11 ( 1)	人
	口腔保健指導 (施設職員)	4 ( 4)	人
	延べ人数	173 (24)	人

支援内容

米崎小学校仮設住宅：歯科健診、口腔機能の向上に関する講話、健口体操、(二日間にわたる) 簡単な歯科治療、脱感作施術

青松館：歯科保健についての現状と、これから先需要が予想される歯科保健支援活動についてのリサーチ

作業所きらり：歯科保健についての現状と、これから先需要が予想される歯科保健支援活動についてのリサーチ

@かたつむり：歯科保健についての現状と、これから先需要が予想される歯科保健支援活動についてのリサーチ

あすなろホーム：歯科健診、う蝕予防講話、歯磨き指導、誤嚥性肺炎防止に繋がる機能訓練

子ども夢ハウスおおつち：う蝕予防製品のお届け、情報交換。

三陸園：あらかじめ必要な入所者さんを選択していただき、口腔ケア指導、口腔内診査、摂食嚥下機能訓練指導。

\* 全ての場所において責任者さん及び従事者の方との懇談を行った。

## 協賛

サンスター株式会社：保湿剤（バトラージェルスプレー、うるおい透明ジェル）、歯間ブラシ、歯ブラシ。

グラクソ・スミスクライン株式会社：ポリデント、ポリグリッブ

T&K株式会社：保湿剤他サンプル製品や指導書

有限会社ビーエムジャパン：ガチャポン

## 考察

### 1. 米崎小学校仮設住宅に関して：

一日目は、歯科治療を希望される方およびお口に関するお悩み事の相談を行った。ハンドトリートメントにてコミュニティをより良好な状況にし、住民の方々からの歯科に関する情報の収集も行った。各人適宜歯科医院を受診しているが、私たちが「簡単な治療（義歯の調整など）と思うものについても、予約が一月先であるのが現状であるようだ。また身体的理由や通院手段が無い事により歯科医院への通院が困難な方が多くおられるという事が、以前からの進歩がみられない。今回も「誤嚥性肺炎の防止（一生自分のお口で食べよう！）をスローガンに、口腔機能の維持向上に視線を向け、歯科保健の啓発を試みてみた。やはり仮設住宅においては、自治会長の佐藤氏および婦人部の佐藤氏、丹羽氏のご尽力の影響はやはり大きいと思われ、今までで通りの人数のご参加を頂いた。ボタンを用いた口唇閉鎖訓練は遊び心をくすぐる訓練法の一つで、結構盛り上がった。終了後は多くの方々に再訪のオファーを頂いた。（白根）

歯間ブラシの使用方法を知らなかったと伺ったことが驚きでした。コマーシャルやテレビの健康番組でも紹介されている場面を目にしていたので広く理解されているものと思っておりましたが情報収集の場や口腔に関する意識の少なさが周知の低さに現れているように感じました。（清水）

寒い時期手足の冷えが気になる季節でもあり、施術前と後での血行の変化を実感いただけた様子だった。手を触れ合うことを通して気持ちがあぐれて次第にお話も弾んで打ち解けるのを感じた。今回は施術担当が一人だったので順番待ちがあったにも関わらず根気良く待ってくださったお陰で希望者全てに実施でき、有難かった。セルフでも行える簡単な手のほぐし方をお伝えして、日常でもハンドトリートメントを通したご自身でのケアの大切さもお伝えできたと思う。尚、個人の仮設住宅のお部屋にお招きいただく機会も頂き、再訪を重ねる毎に、より深い交流ができるようになってきたことを実感した。（清家）

### 2. あすなろホームに関して：

年に2回のお口の健診をと言う事で施設長さんからオファーを頂き、今回が2回目であった。6月は高田市内の大和田歯科医師が行い、その情報を頂

き健診にあたっている。通院が必要な利用者さんに対しての受診勧奨は必務だと思っている。う蝕や歯周病の予防もしかり、口腔機能の維持向上も疾病を抱える利用者さんにとっては大切なことだと感じている。今回は吹き戻し笛を用いて「口唇閉鎖訓練」「呼気、吸気の訓練」「舌の訓練」を行った。このようなアイテムを用いた訓練に対してとても興味を示していただけるので、その有効性を確信させていただいた。最後にお礼として「世界でたった一つの花」を手話交じりで頂いたのには感動しました。(白根)

前回の訪問を利用者の方が覚えていてくださったことに感激しました。もう少し時間をかけて歯磨きのレクチャーが出来ると良かったと思います。指導する方も受ける方も不十分に感じた指導内容だったと思います。大まかな流れの打ち合わせだけではなく実際に行う内容をシュミレーションしてみる必要があると感じました。(今回のことと言えば大きめの顎模型が有るとブラシの当て方や動かし方を伝えやすかったと思います。(清水)

自閉傾向にある利用者さんには、職員さんのいる別室であらかじめハンドトリートメントを行い、会話と施術による緊張の緩和ができたところへ歯科の先生に来ていただき、お口の健診を行った。前回のお口を開いていただけなかった課題をクリアし、今回はスムーズに行えたことは成果だった。また、ハンドトリートメントを通して職員の方々との交流を通して地域の情報交換もでき、再訪のオファーも頂いた。(清家)。

### 3. きらり・@かたつむり・青松館に関して：

3つの施設においては、それぞれ施設職員の方々のご協力の下、現状の説明を受け、口腔健診保健指導、講話、実習について、今後どのような支援の仕方が求められるのか、訪問する時期は何時が適切なのかなどをリサーチさせていただいた。作業所きらりでは、内容的なご指摘および訪問時期について具体的にご意見を頂いた。青松館および@かたつむりに関しては、過去に訪れた事業内容を継続し、さらに内容をステップアップできるようにはなしあった。(白根)

### 4. 子ども夢ハウスおおつちに関して：

とにかく歯磨きの習慣づけを行うきっかけが欲しかったという事で、子どもたちに人気の「ガリガリ君」の歯磨剤を提供させていただいた。また、飴と鞭ではないが今後雪やその他の気象状況で外遊びが出来なくなることが多くなりそうなので、室内でできる簡単なゲームを届けた。その際スタッフの方と今後の支援の仕方について話し合った。こまめな再訪を希望された。(白根)

### 5. 特別養護老人施設三陸園に関して

今回の歯科のスタッフは歯科医師2名、歯科S&H1名で対応させていただいた。いつものように、財津看護師に慈善をお願いして対象者をピックアップしていただいた。PEG造設者など比較的施設の方にとって手間がかかる方、口腔ケアの難しい方、歯磨き時に出血してしまう方、歯がいっぱい揺れている方などが中心であった。ハンドトリートメント施術については職

員の方々を中心に行い、施設における口腔ケアの現状をリサーチさせていただいた。協力歯科医師の小松先生への申し送りの必要な方が何人かいらしたので、書面にて対応をさせていただいた。施設職員対象の口腔ケア講習会の開催を次回に行えるよう調整したいと思う。(白根)

ハンドトリートメントは施設利用者の方を除いて、職員の方は前回も受けてくださった方ばかりだった。そのため状況の変化など時系列で伺うことができた。2年8ヶ月を経過して、日常を取り戻している人にとっては、まだ支援が必要な場所があることを外部から来た人間との交流によって状況を知る機会にもなるということだった。自分の生活のことで精一杯で地域支援に対し何もできなくて心苦しいという話も聞いた。仮設住宅の連絡員の仕事が2014年月で打ち切りになるので、雇用の問題に合わせて点在する仮設住宅の状況が分りづらくなることへの懸念なども指摘もあり、こうした地域の住民の方々の方々の日常のつぶやきに対しても、日常で共有できる場作りや交流が必要なのかもしれないと感じた(清家)。

## 6. 通所型障がい者施設まりんに関して

現地駐在員の山崎氏のオファーにて、職員の方々3人に対して口腔清掃の必要性及びその効果について研修を行った。現状では通所者も職員も積極的な対応ではないという事だったが、研修終了後のディスカッションタイムにおいては多くの積極的なご質問、ご意見を伺った。その後の情報によると研修がきっかけとなり、施設における口腔清掃の習慣づけに取り組んでいるとのうれしいお知らせを頂いた。次回は是非、通所者さんに対してお口の健診を通じた啓発、また保護者の方を対象とした簡単な研修会を開催できたらと考える。(白根)

## 7. 岩手県立高田病院:病棟内における口腔ケア臨床実技指導と講演会実施

主として、病棟看護師に対する口腔ケアの基本についての講義、並びに誤嚥性肺炎を入院下で発症させないための注意点についての解説。口腔ケアを始める前の、患者へのアセスメントとして、口腔内の観察についての要点。歯式の話、口腔内の構造:解剖を含め。歯ブラシを含めた効果的な手技について。口腔ケアの実施に際して開口困難患者への対応法。義歯装着患者についてその取り扱いと清掃法。口腔乾燥が強い患者について予防や保湿剤の選択基準など。病院長、顧問等を含めた看護職員が20数名参加してくれました。(中里)

## 8. 最後に

今回特別日本財団より長谷川氏のご同行を頂きました。”視察”の名目にも関わらず、いろいろ私たちの支援にご協力いただき感謝いたしております。特に記録の件に関しましては、今までになく充実したものが残せました。そして支援を受けることについてのアドバイス等もいただき、私たちが今後の活動を継続していくにあたり、とても勉強になりました。これに懲りることなく、機会がございましたらご同行いただけたらと思います。



米小仮設での“お口のお悩み相談”  
ハンドとのコラボ



お口の健診とブラッシング指導



一日目終了後の会議



誤嚥防止の講話この後実習



ボタンを用いた口唇閉鎖訓練



あすなろホームでのお口の健診



吹き戻し笛による口唇閉鎖



まりんの職員に口腔ケア研修





入所者さんの嚥下確認と口腔ケア



ハンドトリートメントによる脱感作

巡回許可：岩手県気仙歯科医師会 大和田剛史会長様

岩手県歯科医師会 佐藤 保先生

岩手県釜石歯科医師会 三陸園協力歯科医師 小松元先生

岩手三陸復興の狼煙作戦 代表 佐々木龍夫

〒131-0031 東京都墨田区墨田 4-2-4-201 Tel 090-8423-2095

支援責任者 中里義博

〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町 4-13-23 Tel 048-964-4268